

1 補助事業名

マーケティング事業

2 補助事業の事業主体

福井県

3 補助事業の実施場所

- 福井県
- 首都圏
- 中部地方（長野県長野市、長野県軽井沢市、愛知県名古屋市、岐阜県本巣市）
- 近畿地方（京都府京丹波町、大阪府大阪市）

4 補助事業の概要

(1) 若狭路情報発信・調査事業

若狭路の「食」を中心とした観光情報および若狭路に根付く歴史文化を発信し、各エリアにおける誘客や若狭路の「食」をはじめとするブランド形成の可能性や課題などに関する有効な情報発信手法等について調査・検証を行った。

(2) 若狭路連携出向宣伝・調査事業

若狭路の「食」を中心とした観光情報および若狭路に根付く歴史文化を発信し、若狭路の認知度や「食」のイメージ、訪問意向度等を現地に出向いて調査・検証を行った。

(3) 若狭路着地型旅行商品造成・調査事業

新たな観光・体験スポットを情報発信し、観光資源の課題等に関する調査・検証を行った。

(4) 小浜線活性化・調査事業

若狭路唯一の鉄道である小浜線と沿線エリアの訴求と認知度向上を図り、小浜線を活かした観光客と地域の交流に関する調査・検証を行った。

5 補助事業に要した経費および補助金充当額

補助事業に要した経費	53,143,123	円
補助金充当額	53,143,123	円

6 補助事業の成果および評価

(1) 若狭路情報発信・調査事業

新聞やラジオを活用し、首都圏、関西、中京、中四国、長野を中心とした情報発信、あわせて多くの読者やリスナーのアンケート調査を実施し、今後の若狭路への誘客を図るための多くのデータを得ることができた。

新聞については50代以上、ラジオ（首都圏）については40～50代を中心に、媒体により違った年代層のデータを得ることができた。

新聞での調査では首都圏では若狭路の認知度が低いという結果が出ている。50代以上の年代層のデータはラジオでの調査でも得られているため、今後は、ラジオ（首都圏）で若狭路の旬な情報を発信しながら調査を継続していくとともに、より多くの意見、アンケートを回収できるよう、若狭路からの出演者とパーソナリティとを繋ぐアンバサダーの起用や番組ホームページの充実などを図っていく。

(2) 若狭路連携出向宣伝・調査事業

名古屋、長野、軽井沢など多くの地域で出向宣伝を実施し、若狭路のPRを行うことができ、またアンケート調査により、多くのデータを得ることができた。今年度前半は旅の相談に応じながら、タブレット端末におけるアンケート調査を実施し、後半はシールアンケートを実施した。

北陸新幹線沿線の軽井沢では、関東地域からの来客が多いアウトレットモールで調査を実施したが、若狭路へ行ったことがある人は16%と約6人に1人という結果であった。ただし、北陸新幹線敦賀延伸後の若狭路への旅行意欲では、66%が行きたいと答えており、今後も、首都圏から近い北陸新幹線沿線で調査を継続し、北陸新幹線敦賀延伸に向けた対策のための観光需要の動向を把握していく。

また、例年実施している関西、中京地域では、海水浴も含めて若狭路への訪問経験が多いという調査結果が出ているが、日帰りではなく宿泊での訪問希望も多く、若狭路の周遊プラン、宿泊プランなどをPRしながら、今後も観光需要の動向を把握していく。

(3) 若狭路着地型旅行商品造成・調査事業

東京のメディア編集担当者を若狭路に招聘し、若狭路の新たな観光スポットなどを取材してもらい、若狭路の魅力を雑誌、Webマガジンなどの媒体で発信してもらった。

地元旅行社等の着地型旅行商品の企画販売の実績はなかったが、北陸新幹線敦賀延伸を見据え、新幹線で訪れた観光客が若狭路を周遊するための着地型旅行商品は必要であり、この事業が展開していくことが、着地型旅行を発展的に商品化に繋げられ、地域の活性化に結び付くと考える。

今後も雑誌社のメディア招聘にあわせて、旅行社とタイアップして、観光資源の発信と着地型旅行商品造成ができるよう、雑誌社の理解を求めながら、地元旅行社には着地型旅行商品の企画販売への意欲を引き出せるよう取り組んでいく。

(4) 小浜線活性化・調査事業

昨年度のモニターツアー参加者の年代・性別から、M1層（男性20歳～34歳）、F1層（女性20歳～34歳）への訴求が急務と思われたことから、今年度は鉄道漫画家による小浜線や沿線の魅力を引き出す記事を雑誌掲載し、その後掲載誌面をベースに再編集した「小浜線ハンドブック」を作成配布し、読者等への調査・検証を行った。

読者からのアンケート結果では、若狭路の食材では、鯖など魚介類をイメージすることがわかった。今後は、広く鉄道旅に興味関心を持つ人への訴求を高めるため、雑誌に小浜線や若狭の食の記事を掲載し、雑誌の記事を別途パンフレットにまとめ、食に関するイベントなどでも配布し、読者等へ発信および調査を展開していく。

【目標値：(福井県観光新戦略)】

	目標値：R1まで	実績値：H30
福井県嶺南地域観光客入込数 (延べ人数)	921万人	873万人